

3 稲作から学ぶ食農教育～米プロジェクト



和歌山大学教育学部とJAグループ和歌山との相互協力事業で 6月18日(土)、和歌山市内の水田で田植え体験を行いました。
 このプロジェクトは、和歌山大学の学生・教職員、JAグループ和歌山、地域農家が共同で行っているもので、稲作を通じて食、農、命、自然の大切さなどを学ぶ取組みです。
 農薬を使わず栽培するために、アイガモを放鳥し、カモたちに害虫防除や除草に活躍してもらいながら栽培しています。10月には収穫の予定で、その後は昔ながらの脱穀体験や精米し、収穫米は、和歌山市で行われる食農フェア(12月4日)への出展・販売や学内での試食会を予定しています。
<http://center.edu.wakayama-u.ac.jp/project/kome/diary.cgi>

詳しくは

4 宇宙カフェOPEN!



和歌山大学まちかどサテライト(フォルテワジマ6F)に宇宙カフェがオープンしました。宇宙カフェとは、宇宙関係研究の専門家と一般市民が、飲み物を片手に気軽に宇宙に関する話題について語り合う場です。
 第1回目の7月25日(月)には、16名の参加があり、予定時間終了後も先生をつかまえておしゃべりが続くなど、あっという間のひとときとなりました。
 8月21日(日)には第2回目も開催され、日本や世界各地にある電波望遠鏡や、完成したばかりの和の大の12mパラボラアンテナについて語られました。
 宇宙カフェは今後も毎月1回、第4週目に開催する予定です。
<http://www.wakayama-u.ac.jp/machikado/>

詳しくは

5 オープンキャンパスを開催しました



7月24日(日)にオープンキャンパスを開催しました。当日は天候にも恵まれ、合計で約2,200名の来場がありました。
 和歌山県内からはもちろん、遠方では九州などからも来場があり、志望学部ごとの受験情報や就職状況などの説明や、食堂やキャンパスの様子などをくまなく見学していました。
 また、生協学生委員会をはじめとする各学生団体による「和大生がお答えるキャンパスライフ全般の相談コーナー」や、観光学部「着物文化論」の発表など様々な企画が行われました。マスコットキャラクター「わだにゃん」の着ぐるみも登場するなど、キャンパスは賑わいを見せていました。



6 デジタルドームシアターシステムを活用した被災地の360度動画を再現



東日本大震災の教訓を和歌山県や全国の防災教育に生かそうと、和歌山大学防災研究教育センターと和歌山大学宇宙教育研究所が連携し、全方位カメラで被災地の状況を撮影、観光学部で研究開発を進めているデジタルドームシアターシステムを用いて360度動画映像の臨場感ある被災地状況の再現に取り組みました。

7 電波観測通信施設が完成しました

当該施設に設置されているパラボラアンテナは、国内の大学に設置されたものとしては最大の口径の12mとなり、宇宙の研究や防災・減災の研究にも役立てていきます。



8 観光学部棟が完成しました

紀州材がふんだんに使われ、「おもてなし」や「癒し」がテーマとなる観光学部にふさわしい学舎になっています。



和 大 製

ピックアップニュースは学生と教職員で取材・編集・撮影などを行う100%手作りの広報物です